

プレス発表資料



平成 29 年 11 月 20 日
秋 田 大 学

平成 29 年度秋田大学公開講座 「超高齢化社会への対応」を開催

秋田大学（学長：山本文雄）は、平成 29 年 12 月 2 日（土）～24 日（日）の期間、公開講座「超高齢化社会への対応」を開催します。

全国一の高齢県である秋田県では、医療・介護において様々な取り組みがなされています。

秋田大学は、地（知）の拠点としてこれらの問題を解決すべく医理工連携事業に取り組んでいます。さらに、秋田県、秋田県医師会とも連携しオール秋田で総合的な対策を立て、将来へ向けた活動を行っているところです。本講座では具体的な取り組みを紹介し、少子高齢化への対応の最前線を提供します。

日 時：平成 29 年 12 月 2 日（土） 8:50～12:00
17 日（日） 13:00～16:10
24 日（日） 8:50～12:00 全 3 回

会 場：カレッジプラザ（秋田市中通 2 丁目 1-51 明德館ビル 2 階）

講 師：（開講順）

秋田県あきた未来創造部 次長 高橋 修 氏

秋田大学大学院理工学研究科生命科学専攻 教授 伊藤 英晃

秋田県医師会 会長 小玉 弘之 氏

秋田大学大学院理工学研究科システムデザイン工学専攻 教授 巖見 武裕

秋田大学産学連携推進機構 機構長 長縄 明大

秋田大学大学院医学系研究科整形外科学講座 教授 島田 洋一

受 講 料：3,000 円

募集定員：30 名（どなたでも・要申込）※定員になり次第締切といたします。

申込締切：平成 29 年 11 月 22 日（水）まで

申 込 先：秋田大学地方創生・研究推進課

（大学ホームページ・担当窓口・電話・FAX・E-mail で受付）

※詳細は別紙をご確認ください。

【お問い合わせ先】

秋田大学地方創生・研究推進課 （担当）安井

TEL：018-889-2270

FAX：018-889-3162

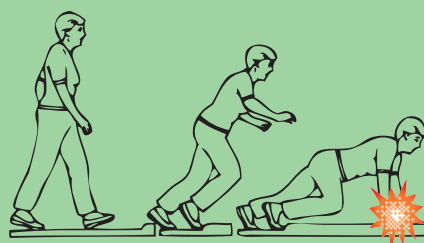
E-mail：shakoken@jimmu.akita-u.ac.jp

平成29年度秋田大学公開講座

超高齢化社会への対応

全国一の高齢県である秋田県では、医療・介護において様々な取り組みがなされています。秋田大学は、地(知)の拠点としてこれらの問題を解決すべく医理工連携事業に取り組んでいます。さらに、秋田県、秋田県医師会とも連携しオール秋田で総合的な対策を立て、将来へ向けた活動を行っているところです。本講座では具体的な取り組みを紹介し、少子高齢化への対応の最前線を提供します。

【会場】カレッジプラザ
(秋田市中通2丁目1-51)



【定員】30名(要申込)

【受講料】3,000円

※受講料は事前振込みとなります。

※欠席による返金・割引等はありません。



【対象】どなたでも

【申込締切日】11月22日(水)

【第1回】12月2日(土) 8:50~12:00	【第2回】12月17日(日)13:00~16:10	【第3回】12月24日(日) 8:50~12:00
『秋田県の人口の少子高齢化問題の克服について』 秋田県あきた未来創造部 次長 高橋 修	『少子化・高齢・人口減少社会への秋田県医師会の対応』 秋田県医師会 会長 小玉 弘之	『秋田大学産学連携推進機構における超高齢化社会への対応』 秋田大学産学連携推進機構 機構長 長縄 明大
『健康寿命社会実現に向けて』 秋田大学大学院理工学研究科 生命科学専攻 教授 伊藤 英晃	『超高齢社会のための医療・介護機器開発』 秋田大学大学院理工学研究科 システムデザイン工学専攻 教授 巖見 武裕	『超高齢社会における運動器疾患』 秋田大学大学院医学系研究科 医学専攻 整形外科科学講座 教授 島田 洋一

超高齢化社会への対応

[講座日程]

日程	講義題	講義概要	
第1回 12月2日(土)	8:40 ~ 8:50	開 講 式	
	① 8:50 ~ 10:20	秋田県の人口の少子高齢化問題の克服について 秋田県あきた未来創造部 次 長 高橋 修	秋田県は、急速に人口の少子・高齢化が進んでいます。各種統計調査による予測結果を示すことでその実像を明らかにするとともに、特に、人口減少に歯止めをかけるための県の取組みを解説します。さらに、当面、県の人口は減少傾向にあり、超少子・高齢化社会の到来は避けられないことから、そうした地域社会であっても県民が安心して暮らせるための県の取組みの方向を解説します。
	② 10:30 ~ 12:00	健康寿命社会実現に向けて 秋田大学大学院理工学研究科 生命科学専攻 教 授 伊藤 英晃	健康を維持した長寿社会の構築のためには、加齢と共に低下する免疫力を賦活化し、適度な運動が必要となる。発酵食品の中には免疫力を高める乳酸菌や、抗菌ペプチドを誘導する糞菌も特定しました。腸内細菌の善玉菌を増やし、免疫力を高めるためのサプリメント開発などを解説します。
第2回 12月17日(日)	① 13:00 ~ 14:30	少子化・高齢・人口減少社会への秋田県医師会の対応 秋田県医師会 会 長 小玉 弘之	秋田県医師会などが組織する「21世紀の医療を守る会」では、少子化・人口減少社会、人口70万時代の医療・介護・福祉について一般市民向けの講演会を県内各地で開催し、情報を交換することにより、議論を深めています。人口動態を見据えた医療資源の集約化と均てん化については地域住民の目線で考えることが重要です。秋田県医師会の種々の取組みを解説します。
	② 14:40 ~ 16:10	超高齢化社会のための医療・介護機器開発 秋田大学大学院理工学研究科 システムデザイン工学専攻 教 授 巖見 武裕	少子化により介護負担は大きな問題となっています。これを軽減するため、様々な医療・介護機器が提案されています。これまで、秋田大学では医理工連携により多くのロボットや介護機器を開発してきました。脳卒中や脊髄損傷の歩行訓練、上肢訓練、体幹バランス訓練機器、及びそれらの先端制御技術を解説します。
第3回 12月24日(日)	① 8:50 ~ 10:20	秋田大学産学連携推進機構における超高齢化社会への対応 秋田大学産学連携推進機構 機構長 長縄 明大	秋田大学産学連携推進機構では、医理工連携（医学部と理工学部の連携）により医療、福祉、介護、看護など様々な現場で生じている問題を解決するため、産学連携で培ってきたノウハウを医理工連携の場へ展開し、超高齢化社会に対応する取組みを行っています。本講座では、秋田大学の産学連携および医理工連携への取組みや事例などを紹介します。
	② 10:30 ~ 12:00	超高齢社会における運動器疾患 秋田大学大学院医学系研究科 整形外科学講座 教 授 島田 洋一	高齢者では、骨・関節、筋肉の衰えにより、生活がさまざまなに制限されます。平均寿命は延びても人の助けを要しない健康寿命は約10年間早く訪れます。これまで内臓疾患について注目されてきましたが、生活の質を決定するのは運動器であることが明らかにされ、国も目標値を設定しています。高齢者運動器疾患の病態、予防、治療について概説します。
	12:00 ~ 12:10	閉 講 式	

超高齢化社会への対応 FAX 申込用紙

氏 名		年 齢	性 別
(フリガナ)			男 ・ 女
〒 □□□□-□□□□		(オ)	
住 所	※ (電話は、日中連絡のつきやすい番号をご記入ください。)		
電 話 番 号			
交 通 手 段	1. 自家用車を使用する		2. それ以外

※ 申込受付後に案内と振込用紙を郵送させていただきます。

秋田大学地方創生・研究推進課 FAX : 018-889-3162